医療法人真正会　**広報誌**　2007年1月号（第10号）

Wa!

真正会
Shinseikai

設立理念

老人にも明日がある

発行　医療法人真正会　埼玉県川越市安比奈新田283-1
企画編集　広報誌編集企画チーム　編集長　長谷川 均
ホームページアドレス　http://www.kasumi-gr.com/　　メールアドレス　info@kasumi-gr.com

■　平成１９年元旦のひとコマ　■

理事長　斉藤正身

新年明けましておめでとうございます。

何があっても守られるべき社会保障が、根底から崩れていくことに憤りさえ感じています。このようなときだからこそ、私たちは地域をしっかり見つめ、利用者の皆様一人ひとりのニーズに応えるサービスの提供に努めていく所存です。今年も私たちの活動に注目してください。

今年は当法人にとって大きな事業が展開されます。霞ヶ関中央病院の外来を霞ヶ関南病院に移転することになりました。入院機能と外来機能が分断されていたものを一ヶ所に集中することにより、利便性と効率化を図ることが目的です。

中央病院の療養病床、デイリビングは今後も継続していきますが、南病院は１月中旬より増改築工事が始まります。８月１日にリニューアルスタートの予定ですが、半年以上に及ぶかなり大きな工事になります。工事中ご不便やご迷惑がかからないようにできるかぎり対処いたしますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。この事業は決して単に外来が中央病院から南病院に移るという話だけではなく、皆様にとっての利便性や内容の充実を図る予定です。具体的な内容は順次お伝えしていくことになりますので、ぜひ期待をしていただければ幸いです。

○ 真正会の外来診療が変わります ○

外来診療部門が霞ヶ関中央病院から霞ヶ関南病院へ移ります

長年、当法人の外来診察は霞ヶ関中央病院で行っていましたが、昭和 47 年の開設当時から使用している建物も老朽化・狭隘（きょうあい）化に加え、アメニティ等の面でも必ずしも利用者様の満足できる状態とは言えなくなってきておりました。そして霞ヶ関中央病院と霞ヶ関南病院の入院機能の役割の明確化がこの数年で進むとともに多様化する利用者様のニーズに対応するため、このたび霞ヶ関中央病院の外来機能を霞ヶ関南病院に移行し、霞ヶ関南病院敷地内駐車場部分に本年８月開設を目処に外来棟を増築することになりました。いままで霞ヶ関中央病院で行ってきた内科、皮膚科、眼科、生活習慣病、糖尿病、リウマチ外来等を霞ヶ関南病院で行っていく予定です。またこれを機に霞ヶ関南病院の特色であるリハビリテーション部門、コミュニティケア部門と密接に連携した医療の提供が出来ればと考えております。

平成 19 年 7 月竣工予定

新たな霞ヶ関南病院外来のコンセプト

① 外来診療とリハビリテーション部門との密接な連携

② 高齢者のライフスタイルや人生観を尊重した医療の提供

③ 専門外来（生活習慣病、糖尿病、リウマチ、皮膚アンチエイジング*外来など）の充実

以上を 3 つの柱として、医療と福祉の一体化を図り、地域の皆様の健康をお守りして行きたいと思っています。

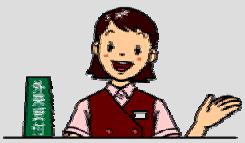
増築・移転に伴いましては、今月から工事が開始されます。患者様や地域の皆様、そして南病院をすでにご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

なお工事の進捗状況は随時、当法人のホームページでお知らせしたいと思っています。

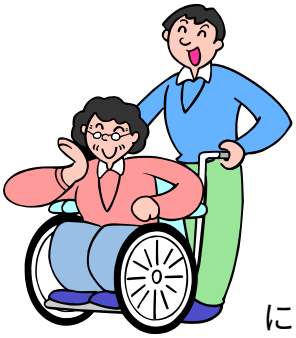
ところで･･･
アンチエイジングって何？？

エイジングは老化や加齢という意味です。
アンチエイジングは老化や加齢をくい止めていこうということ。

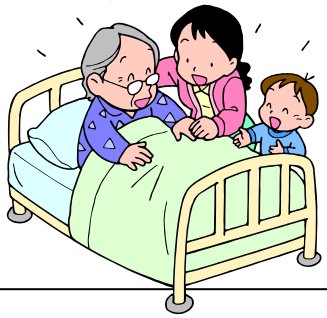
つまり、いつまでも若々しく元気でいようというのが アンチエイジングです。



○　霞ヶ関南病院の病棟が変わりました　○



当院は、「リハビリテーション」と「コミュニティケア」を柱として事業を展開してきました。回復期リハビリテーション病棟（158 床）は、今までと変わらず脳血管疾患や骨折後の患者様にリハビリテーションサービスを提供しています。さらに、地域の方が安心して療養を継続したり医療サービスが受けられるために、昨年 10 月に 4 階ふじ病棟は障害者施設等一般病棟にリニューアルしました。看護師の配置数も多いため、在宅で療養されている重度障害の方や癌末期等のターミナルの方も在宅療養支援診療所（安比奈クリニック）と連携しながら後方支援の病棟として体制を整備しました。



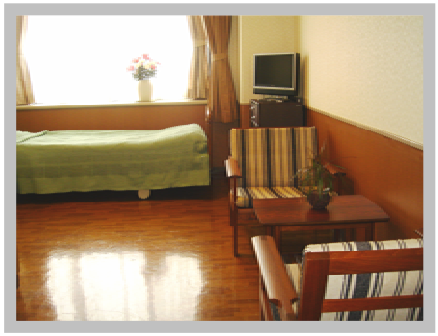
○　霞ヶ関南病院の病室が変わりました　○

入院生活をより快適に過ごして頂くために・・・

「モダンリビング」調に改装しました（4階ふじ病棟）

落ち着きのある色合いと個人の時間や空間を大切に考え家具を配置しました。

快適さと安心を追求し、やさしさと笑顔でご満足いただけるように頑張ります。

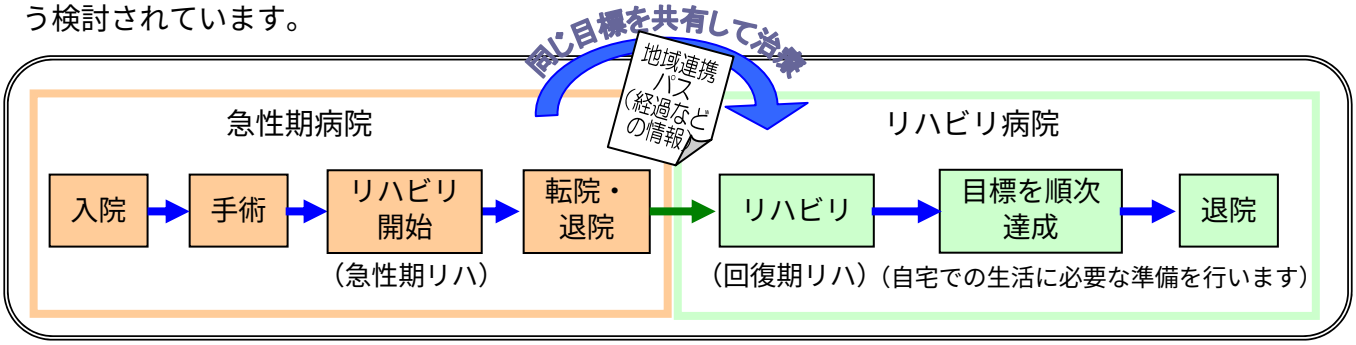


○ 地域連携パスって何？ ○

前号の広報誌でお伝えしましたとおり、利用者様にとっての新しい医療保険制度が少しずつ誕生しています。今回は「**地域連携パス**」についてお話したいと思います。

地域連携パスとは、一つの疾患に対して地域の医療機関が各々の専門的治療を行うことによって、一人の患者様が病院をまたがっても、**継ぎ目のない医療が受けられる仕組み**のことを言います。急性期病院での治療とリハビリテーション病院での治療が、分かりやすく一枚の表になっており、治療以外にも手術をして何日後に抜糸をするのか、何日後には歩くリハビリが始まるのかなどが表示されています。当院は石心会狭山病院と共同で、埼玉県の第一号としてこの地域連携パスを導入し、既に患者様の受入れを開始しております。

現在では大腿骨頚部骨折についての地域連携パス（下図のような流れ）が始動しています。今後は脳梗塞などの脳血管疾患、心筋梗塞、ガンの手術後など多くの病気にもこのシステムが取り入れられるよう検討されています。



図：地域連携パスのイメージ

○ 川鶴診療所　閉院のお知らせ ○

平成１８年９月３０日（土）を持ちまして、川鶴診療所の機能を霞ヶ関中央病院に移管することになりました。25 年の長い間ご利用いただき誠にありがとうございました。

平成１９年３月には、姉妹法人である社会福祉法人「真寿会」によるデイサービス（通所介護）を中心にした介護事業の拠点に生まれ変わる予定です。形態は変わりますが、引き続き地域の皆様のお役に立てるようなサービス展開を目指しておりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

○ 地域感謝祭ふれあい広場 ○

昨年 10 月 21 日（土）に、霞ヶ関南病院お隣りの特別養護老人ホーム「真寿園」にて、『地域感謝祭ふれあい広場』が開催されました。お天気にも恵まれ、沢山の地域の方にご来場いただきました。

また、恒例の『**マグロの解体ショー（目方当てクイズ）＆即売会**』や『**ドイツ国際平和村への募金**』にも多数のご協力を頂きありがとうございました。　※ドイツ国際平和村の活動の詳細については URL：http://www.friedensdorf.de/japan/home.htm をご覧下さい。

Shinseikai Medical Group

霞ヶ関南病院　TEL 049-232-1313
霞ヶ関中央病院　TEL 049-231-5121
安比奈クリニック　TEL 049-239-3353
ケアラウンジ南大塚　TEL 049-238-1188
訪問看護ステーション　スマイル　TEL 049-233-2525
ホームヘルパーステーション　コール　TEL 049-232-1313（代）
居宅介護支援事業者　霞ヶ関南病院　TEL 049-239-3560
川越市地域包括支援センター　かすみ　TEL 049-234-8181
SKIP　トレーニングセンター　TEL 049-232-1313（代）